

TKS report vol.21

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

第111期年次報告書

2016年3月1日～2017年2月28日



株式会社 **東京衡機**

TOKYO KOKI CO. LTD.

【東証2部上場（証券コード7719）】

■ トップメッセージ/企業理念



代表取締役会長兼社長
石川 隆一

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第111期（2016年3月1日～2017年2月28日）のわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策を背景に、企業収益の回復や雇用環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとするアジア新興国の景気の緩やかな減速や米国の売権交代による政策転換、英国のEU離脱問題など海外経済は不確実な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、一昨年9月に実施したグループ内の事業統合の効果をより高めていくために、営業・サービス体制の見直しや代理店網の整備・強化を行うとともに、製造原価マネジメントの強化を進め、安定的な収益の確保に努めました。

エンジニアリング事業では、主力製品であるハイパーロードナットやゆるみ止めスプリングの安定的な収益基盤の確立に向け、高速道路や電力、公共施設開

連を中心に販売体制を強化するとともに、収益の拡大に向け量販店向け商品の取扱いも拡大しました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司において、安定的な収益の拡大に向けて、主力であるオフィス家具部品や家電部品、自動車関連部品等のプラスチック成型品の製造販売に注力するとともに、新規取引先の開拓に取り組みました。

当期の業績につきましては、売上高、利益ともに全事業部門で増加し、営業利益につきましては1981年（昭和56年）11月期以来の過去最高益、経常利益につきましても2009年（平成21年）2月期以来の過去最高益を計上することができました。

今後につきましては、中長期的視点に立って、グループとしてさらなる成長を目指すべく、グループ各社の連携と内部体制の充実強化を図り、各事業の業務改革を進めるとともに、ビジョンの達成に向け、様々な課題にチャレンジいたします。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

contents

トップメッセージ/企業理念	1
決算ハイライト	2
事業内容	3
事業の概況	4
特集 ㈱東京衡機エンジニアリングのご紹介	5
連結財務諸表（概要）	7
トピックス	9
株式情報/会社概要/役員等	10

TKS
TOKYO KOKI

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY
「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を
尊重する”とともに、やさしさと
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、
地域からも“信頼される
企業市民”であり続けます。

決算ハイライト

第111期 (2016年3月1日～2017年2月28日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	5,122百万円 (前年度比 6.7%)	780百万円 (前年度比 △47.1%)
営業利益	240百万円 (前年度は 3百万円)	12百万円 (前年度は △68百万円)
経常利益	220百万円 (前年度は 9百万円)	1百万円 (前年度は △83百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	165百万円 (前年度比 44.2%)	34百万円 (前年度は △106百万円)
1株当たり当期純利益	2円32銭	0円49銭

※△は損失を示しております。

当連結会計年度は、試験機事業では、企業の設備投資が引き続き比較的堅調に推移し、疲労試験機等の材料試験機の販路拡大や動的試験機の安定的な受注確保に向け、積極的な営業活動を展開するとともに、代理店との連携強化を進めたことなどから、売上高は増収を確保することができました。また、生産面におきましては、生産工程の見直しや徹底した製造原価改善に取り組むとともに、販売管理費等の削減に努めました。

エンジニアリング事業では、安定的な収益基盤の拡大に向け事業収益構造の改善を進め、高速道路などのインフラや電力関連等のライフライン、公共事業関連施設等を対象にした販売体制を強化し、主力製品であるハイパーロードナットやゆるみ止めスプリングの拡販に取り組みました。また、主要顧客とゆるみ止め製品の共同特許出願を行い、2016年度グッドデザイン賞を受賞するなど、ユーザー視点に立った製品開発を進め、より安定的な受注・販売環境の確保に努めました。さらに、訪日客をターゲットとした量販店向け商品（ステンレスボトル、軽量スーツケース等）の製造販売を行い、インパウンドの爆買い需要は落ち着きを見せてきたものの、収益の拡大を図ることができました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司において、中国の景気減速が進むなか、日本や欧米向けを中心にオフィス家具部品や家電部品、自動車関連部品等のプラスチック成型品の製造販売の拡充を行うとともに、新規取引先の開拓に取り組み、増収増益となりましたが、中国国内向けの自動車関連部品等が伸び悩んだことや、為替が元安傾向に進んだことなどにより、当初の計画には届きませんでした。また、生産面におきましては、生産管理体制の見直しや製品品質の改善・向上、コスト低減などに努めるとともに、エンジニアリング事業部門と連携し、グループシナジーを活かしたプラスチック成型品の製造受託を行いました。

以上の結果、当期の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

業績のポイント

- ①試験機事業は、積極的な営業活動や継続的な原価改善等により堅調な増収増益を確保
- ②エンジニアリング事業は、事業構造改革の進展により売上・利益ともに大幅に増加
- ③海外事業は、中国の景気減速の影響等により当初の計画より伸び悩んだものの、増収を確保し黒字化
- ④個別業績は、一昨年の試験機事業の会社分割に伴い売上は減少するも、利益は黒字に転換

■ 業績の見通し (2017年4月14日の業績予想公表時点)

第112期 (2017年3月1日～2018年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	
連結業績	第2四半期累計	2,200百万円	40百万円	35百万円	25百万円
	通期	5,500百万円	260百万円	240百万円	170百万円

※当期より実質的な持株会社体制に移行したことから、個別業績予想の公表は行わないことといたしました。

事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

試験機・計測機器の開発・設計・生産からメンテナンス・校正・受託試験サービスまで高度な技術力によりワンストップソリューションを提供しており、産業界や各種研究機関から広くご愛顧をいただいております。



試験機事業

海外事業

海外事業

中国子会社の樹脂成型技術を活かして、オフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック成型品の製造販売を行っています。



TKS
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge ENRICH SOCIETY

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業

画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ止めナットとナットの脱落を防止するゆるみ止めスプリングの製造販売(締結具事業)を中心に、一般消費者向け商品の取扱い等(民生事業)を行っています。



アジア地域における拠点

MONGOLIA

CHINA

NORTH KOREA

SOUTH KOREA

JAPAN

無錫三和塑料製品有限公司

東京衡機
試験機
豊橋工場

東京衡機
試験機
相模原工場

東京衡機
試験機
サービス

東京衡機
エンジニアリング

TKS
東京衡機

事業拠点



相模原工場

本店
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
第7東ビル



豊橋工場

国内子会社

株式会社東京衡機試験機

- 本店
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地 第7東ビル
- 相模原工場・相模原オフィス
神奈川県相模原市緑区三井315番地
- 豊橋工場・豊橋オフィス
愛知県豊橋市北島町字北島202番地
- 東京オフィス (2017年7月より本店に統合・移転の予定)
東京都千代田区岩本町三丁目4番5号 第1東ビル4階
- 大阪オフィス
大阪市淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル2階

株式会社東京衡機試験機サービス

- 本社
神奈川県相模原市緑区三井315番地

株式会社東京衡機エンジニアリング

- 本社
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地 第7東ビル

株式会社テークステレコム ※事業休止中

海外子会社

- 無錫三和塑料製品有限公司 (中国江蘇省無錫市)
- 無錫特可思電器製造有限公司 (中国江蘇省無錫市)

事業の概況

当社グループは、2017年度から「再生のステージから、新たな企業創生へのチャレンジ！」をテーマに各事業において以下のビジョンを掲げ、新たな東京衡機グループの創生に取り組んでいます。

試験機事業

産業の基盤技術として、存在感のある試験機事業会社を目指す。

エンジニアリング事業

顧客満足と社会の発展に貢献する企業を目指す。

海外事業

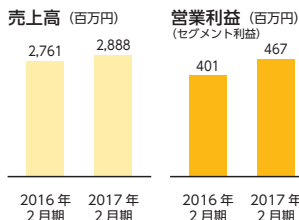
生産能力拡張により上海江蘇地域で業界No.1を目指す。

TESTING MACHINE BUSINESS

試験機事業

売上高 2,888百万円

営業利益 (セグメント利益) 467百万円



当期は、標準的試験機の拡販や修理・メンテナンスサービスの安定収益化に向けて継続的な営業活動に取り組むとともに、代理店との連携体制を強化するなど多面的な販売活動を展開した結果、海外向けの大型試験装置の売上計上やコンクリートに係る標準的材料試験機の需要増加等により売上高は前期を上回りました。また、損益につきましても、製造原価マネジメントの改善・強化と販売管理費の見直しに継続的に取り組んだ結果、営業利益は前期を大幅に上回りました。

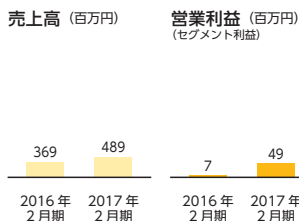


Engineering BUSINESS

エンジニアリング事業

売上高 489百万円

営業利益 (セグメント利益) 49百万円



当期は、主に高速道路や電力関係等のインフラ施設や公共事業関連施設を対象にハイパーロードナットやゆるみ止めスプリングの販売強化に取り組むとともに、主要顧客との共同開発による製品を供給するなど安定的な受注・売上の確保に努めました。また、訪日客をターゲットとした量販店向け商品の取扱いも拡大し、収益の拡大を図りました。その結果、当初の計画には届かなかったものの、売上高および営業利益ともに前期を大幅に上回りました。

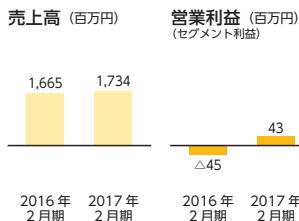


Overseas BUSINESS

海外事業

売上高 1,734百万円

営業利益 (セグメント利益) 43百万円



当期は、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司において、中国国内のほか日本や欧米向けにオフィス家具部品や家電部品、自動車部品等のプラスチック成型品の製造販売の維持拡大に注力するとともに、新規分野の開拓や生産管理体制の見直し、製品品質の改善等に取り組みました。その結果、オフィス家具部品関係は比較的堅調であったものの、中国の景気減速が影響して自動車部品関係が伸び悩んだことなどから、当初の計画を下回りましたが、売上高は前期を上回り、営業利益も黒字化したました。



※売上高には、外部顧客への売上高を記載しております。
 ※△は損失を示しております。



当社は、平成29年3月1日付でエンジニアリング事業（従前の営業開発部が担当していた事業）を簡易新設分割により新設会社の(株)東京衡機エンジニアリングに承継させました。

これにより、当社は、実質的な持株会社体制に移行し、グループの経営戦略の立案・遂行ならびにグループ各社の統括管理およびサポートを中心に行うこととなりました。

新設会社である(株)東京衡機エンジニアリングの概要は以下のとおりです。

新体制の下、グループ役職員一同決意を新たにして、皆様のご期待に添えますよう全力を尽くす所存でございますので、何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

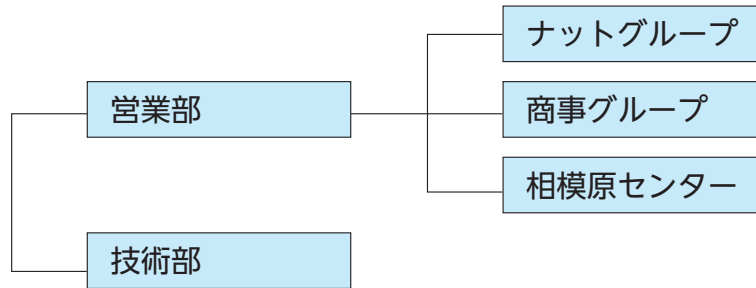
名 称	(株)東京衡機エンジニアリング (TOKYO KOKI ENGINEERING CO. LTD.)
本店所在地	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地 第7東ビル (電話番号) 03-5298-1801 (FAX番号) 03-5298-1802
代 表 者	代表取締役会長 石川隆一 代表取締役社長 平田真一郎
事業内容	ゆるみ止めナット・スプリング、特殊バネ、ボルトその他の締結部材の製造・販売、一般消費者向けの商品の販売および各種サービス
資 本 金	5,000万円
設立年月日	平成29年3月1日
決 算 期	2月末日
株 主	(株)東京衡機 100%

〔(株)東京衡機エンジニアリングのVISION〕

「顧客満足と社会の発展に貢献する企業を目指す」

Aim for companies that contribute to customer satisfaction and social development

〔組織図〕



〔取扱い製品・商品〕



ハイパーロードナット



ハイパーロードスプリング



相模原センター商品展示棚



ハイパーロードナット道路関係導入事例

連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

連結貸借対照表

科目	前連結会計年度 2016年2月29日現在	当連結会計年度 2017年2月28日現在
資産の部		
流動資産	3,102	3,404
現金及び預金 1	552	728
受取手形及び売掛金	1,612	1,605
たな卸資産 2	822	944
繰延税金資産	5	8
その他	180	206
貸倒引当金	△ 71	△ 88
固定資産	1,417	1,416
有形固定資産	1,149	1,165
無形固定資産	119	107
繰延税金資産	49	60
投資その他 3	456	292
貸倒引当金	△ 357	△ 208
資産合計	4,519	4,821
負債の部		
流動負債	2,052	2,272
固定負債	884	901
負債合計 4	2,937	3,174
純資産の部		
株主資本 5	976	1,141
その他の包括利益累計額 6	605	504
新株予約権	—	1
純資産合計	1,581	1,646
負債純資産合計	4,519	4,821

Point1 現金及び預金

長期借入金等の資金調達を適宜行っており、一昨年の子会社の特別清算に係る借入金の弁済があるものの、前連結会計年度末に比べ1億75百万円増加しております。

Point2 たな卸資産

主に海外事業のたな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加しております。

Point3 投資その他

主に長期営業債権の消滅により前連結会計年度末に比べ1億64百万円減少しております。なお、貸倒引当金も同債権の消滅を主因に1億49百万円減少しております。

Point4 負債合計

主に買掛債務の増加により、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加しております。

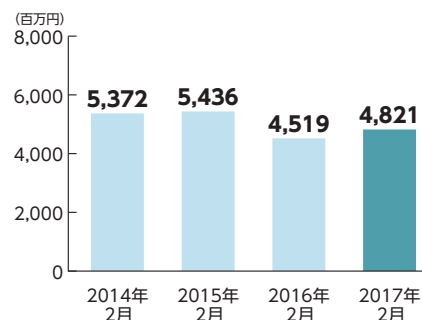
Point5 株主資本

親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により前連結会計年度に比べ1億65百万円増加しております。

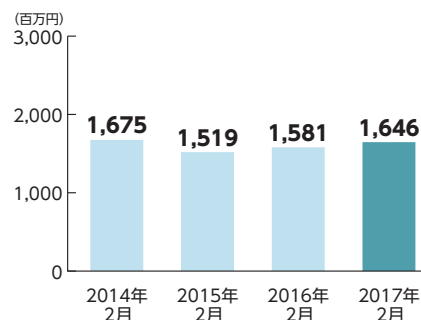
Point6 その他の包括利益累計額

人民元に係る為替換算調整勘定の減少等により前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少しております。

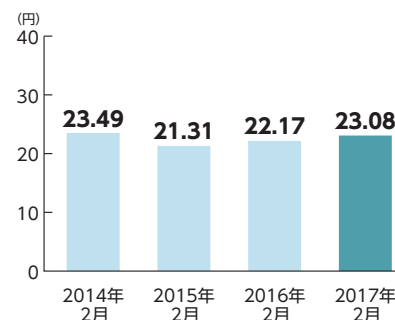
総資産



純資産



1株当たり純資産



連結損益計算書

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2015年3月1日～2016年2月29日	2016年3月1日～2017年2月28日
売上高 7	4,800	5,122
売上原価	3,470	3,566
売上総利益 8	1,330	1,555
販売費及び一般管理費	1,326	1,315
営業利益	3	240
営業外収益	57	11
営業外費用	50	31
経常利益	9	220
特別利益 9	265	3
特別損失 10	108	—
税金等調整前当期純利益	166	223
法人税等	52	58
当期純利益	114	165
親会社株主に帰属する当期純利益	114	165

Point7 売上高

売上高は前連結会計年度に比べ3億21百万円増加しております。試験機事業は1億27百万円、エンジニアリング事業は1億20百万円、海外事業は69百万円とすべてのセグメントで増加となっております。なお、売上高増加の主要因については、試験機事業は海外向けの大型試験装置の売上、エンジニアリング事業は量販店向けのステンレスボトル等の販売拡大、海外事業ではオフィス家具部品関係の好調な推移によります。

Point8 売上総利益

売上総利益は、試験機事業における原価改善、エンジニアリング事業の収益構造改革、海外事業の売上増加等により、前連結会計年度に比べ2億25百万円増加しております。売上総利益率は2.7ポイント改善し、30.4%となっております。

Point9 特別利益

前連結会計年度は、子会社の特別清算に伴う債務免除益2億60百万円を特別利益に計上しております。

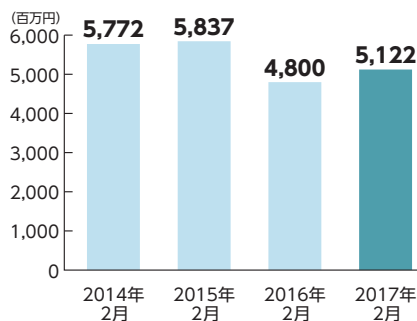
Point10 特別損失

前連結会計年度は、無錫三和塑料製品有限公司およびその子会社の家電製品事業に係る事業再編損を1億1百万円計上しております。

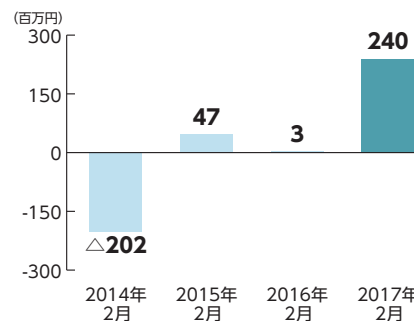
連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2015年3月1日～2016年2月29日	2016年3月1日～2017年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 123	382
投資活動によるキャッシュ・フロー	62	△ 69
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 246	△ 140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4	△ 7
現金及び現金同等物の増加額又は減少額 (△)	△ 311	163
現金及び現金同等物の期首残高	820	508
現金及び現金同等物の期末残高	508	672

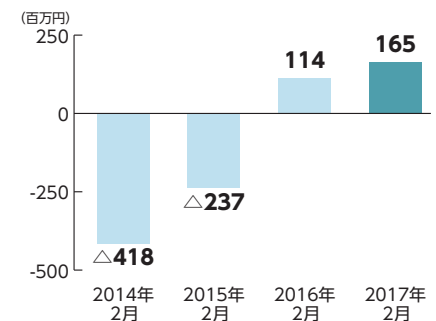
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



トピックス

「TEST2017－第14回総合試験機器展」への出展

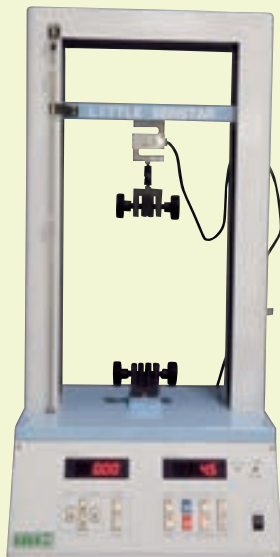
2017年9月13日（水）から15日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて、日本試験機工業会主催の「TEST2017－第14回総合試験機器展」が開催されます。

本展示会は、「未来につなぐ試験と計測 “見せる信頼—確かな品質”」をテーマとし「材料試験、環境試験と計測、評価に関する国内唯一の総合展」として安全・安心な技術振興の貢献にむけて新しい情報を発信し、情報交換の場とする2年に1度のイベントで、基礎セミナーや専門セミナー、出展社プレゼンテーションも行われます。また、第14回となる今回は、各業界におけるビジネスマッチングにも力が注がれ、「自動車技術ゾーン」や「ロボット技術ゾーン」が新設される予定です。

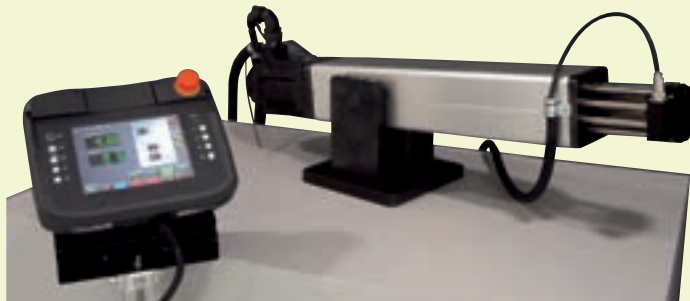


PBF-30Xa

当社グループの(株)東京衡機試験機は、軽量・コンパクトで操作の容易な平面曲げ疲労試験機PBF、小型卓上試験機リトルセンサーおよびELA型リニアアクチュエータを本展示会に出展し、新たなお客様の獲得に向けて積極的に製品PRを行う予定です。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。



リトルセンサー



ELA型リニアアクチュエータ

株式情報 (2017年2月28日現在)

● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,461名

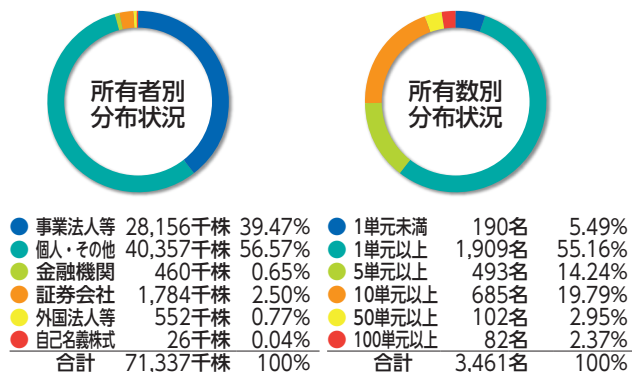
*上記の発行済株式の総数には、自己株式26,742株を含みます。

● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
Dream Bridge株式会社	21,401千株	30.01%
株式会社アジアゲート ホールディングス	5,978千株	8.38%
何 積橋	1,870千株	2.62%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
早坂 天	1,029千株	1.44%
前田 喜美子	718千株	1.00%
石井 照義	560千株	0.78%
仮屋 浩一	460千株	0.64%
池上 道弘	406千株	0.56%
株式会社SBI証券	406千株	0.56%

*持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(26,742株)を控除しております。

● 株式の分布状況



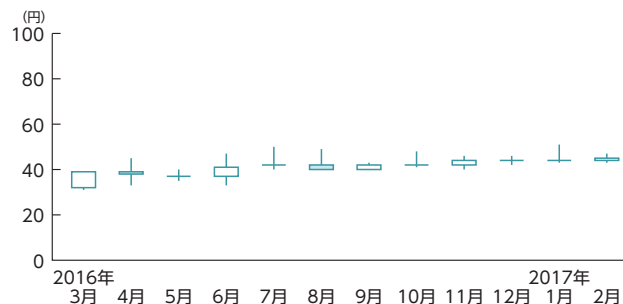
会社概要 (2017年5月25日現在)

商号	株式会社東京衡機
本店所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創立	1923年(大正12年)3月20日
資本金	27億1,355万2,013円
従業員数	20名(連結407名)(2017年2月28日現在)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行 ・グループ子会社の統括管理およびサポート 【グループの事業内容】 ・試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ・ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス ・住宅関連設備その他一般消費者向け商品の販売、各種サービス

役員等 (2017年5月25日現在)

代表取締役会長兼社長 (兼 社長執行役員 グループ経営会議議長)	石川 隆一
取締役 (兼 常務執行役員)	平田 真一郎
取締役 (兼 常務執行役員 グループマネジメント担当兼海外事業担当)	神崎 吉平
取締役 (非常勤)	竹中 洋
取締役 (社外取締役)	花島 浩
取締役 (社外取締役)	神邊 英明
取締役 (社外取締役)	石渡 隆生
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役 (社外監査役)	藤田 泰三
監査役 (社外監査役)	水川 聡
監査役 (社外監査役)	玉虫 俊夫
会計監査人	清和監査法人

● 株価の推移



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL http://www.tksnet.co.jp) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



ロゴマークについて

“技術力”“独創性”“人”“伝統”全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を“光のイメージ”に展開しています。

青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

赤：東京衡機の独創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“独創性”を「赤」で表現しています。

緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**
TOKYO KOKI CO., LTD.



〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802